

第7章 産業廃棄物

第1節 産業廃棄物の排出・処理状況

産業廃棄物とは、事業活動に伴って生じた廃棄物のうち、燃え殻、汚泥、廃プラスチック等の20種類のことをいいます。このうち、爆発性、毒性、感染性などにより、人の健康及び生活環境に被害を及ぼすおそれのある産業廃棄物は、特別管理産業廃棄物として定められています。

これらの産業廃棄物は、排出した事業者が自らの責任において、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（以下「廃棄物処理法」という。）に定める基準に従い処理しなければなりません。また、その処理を他人に委託する場合は、廃棄物処理法上の許可を有する業者に委託しなければなりません。

1 種類別排出量・割合

平成26年度に市内の主な事業場等が排出した産業廃棄物の量は約30万トンです。

排出量を産業廃棄物の種類別に見ると、最も多い汚泥が14.8万トンで全体の50%を占め、以下、ばいじん6.5万トン（22%）、がれき類3.9万トン（13%）と続き、これら3種類が全体の8割を占めています。

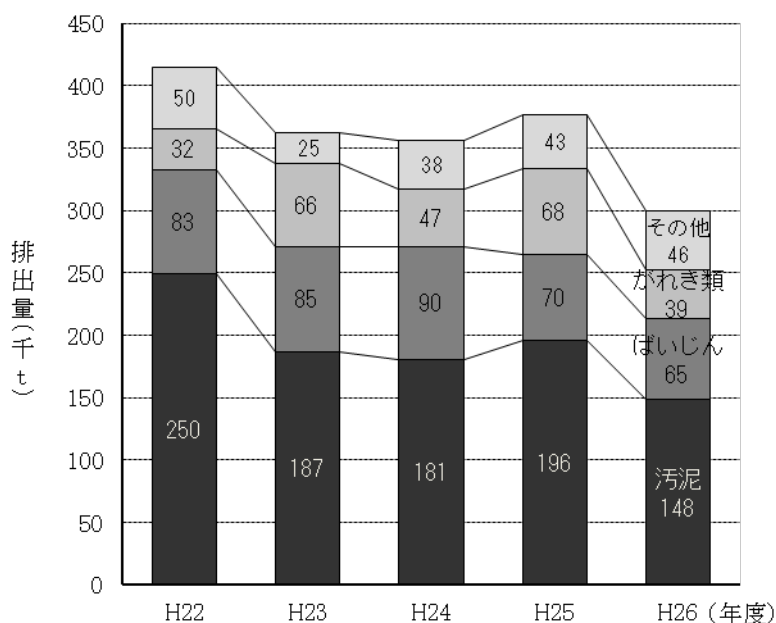


図7-1-1 排出量の推移

2 種類別処理実績

排出された産業廃棄物30万トンのうち、汚泥及びがれき類等の約9万トンは排出事業者が自ら中間処理（汚泥の脱水、がれき類の破砕）し、減量化及び再生利用されています。処理業者に処理委託される量は、埋立（最終処分）が6千トンで、破砕、焼却などの中間処理が20万トンです。中間処理のうち再生利用業者への委託が14万トンで、中間処理全体の7割を占めています。

表7-1-1 産業廃棄物の種類別排出量と処理実績 ※1

(単位：t)

廃棄物の種類	排出量	保管量	有価売却	自社中間処理	自社処理後再生利用	計	委託処理			
							埋立	中間処理		
								市内	市外	内再生利用※3
1 燃え殻	12,174		55			12,119	6	32	12,081	12,081
2 汚泥※2	148,482	7	2,720	92,187	250	61,641	5,241	39,891	16,509	15,760
3 廃油	1,228		31			1,197	0	9	1,188	310
4 廃酸	171	1				171			171	41
5 廃アルカリ	10,378	2				10,376			10,376	1
6 廃プラスチック類	1,935	16	318	59	9	1,543	17	689	837	1,054
7 紙くず	393		324	0	0	68		63	5	5
8 木くず	2,356		13	31	31	2,312		1,531	781	2,219
9 繊維くず	10			0	0	9		2	7	8
10 動植物性残さ	652		525			127			127	127
11 動物系固形不要物										
12 ゴムくず										
13 金属くず	4,277		4,006			270		75	196	205
14 ガラスくず等	5,348	2,500		4	4	2,844	609	936	1,299	1,790
15 鋳さい	2,249		1			2,248	23	29	2,195	2,225
16 がれき類	39,276	1		241	241	39,034	127	31,124	7,783	38,827
17 動物のふん尿										
18 動物の死体										
19 ばいじん	64,533					64,533	29	20,433	44,071	64,504
20 13号廃棄物										
21 混合物	545					545		169	375	211
22 特管廃油	1,518	6				1,512	0	1	1,511	634
23 特管廃酸	3,628	394	2,809			425			425	4
24 特管廃アルカリ	91					91			91	
25 特管感染性廃棄物	0					0		0	0	
26 特管廃PCB等	24					24			24	
27 特管PCB汚染物	0					0			0	
28 特管PCB処理物	1					1			1	
29 特管指定下水汚泥										
30 特管鋳さい										
31 特管廃石綿等	3					3	3			
32 特管ばいじん	38					38			38	
33 特管燃え殻										
34 特管廃油	10		10							
35 特管汚泥	6					6	1		5	
36 特管廃酸	191					191			191	81
37 特管廃アルカリ										
38 特管物処理物										
39 特管混合物										
合計	299,516	2,927	10,813	92,522	535	201,327	6,055	94,983	100,290	140,087

※1 産業廃棄物発生量の多い市内の企業と建設工事の集計

(平成26年度実績)

※2 汚泥発生量の把握時点は以下のとおり

- ①製品の生産工程中に脱水・乾燥工程が含まれている場合：その脱水・乾燥工程の後の重量
- ③廃棄物の処理を目的とした汚泥の脱水・乾燥施設である場合：脱水・乾燥前の重量
- ③施設から脱水・乾燥等の工程を経ずに発生する場合：発生時点での重量

※3 中間処理のうち、処理後再生利用を行う処理業者への委託量

第2節 産業廃棄物処理施設

事業者が産業廃棄物を処理する最終処分場（埋立処分場）及び一定規模以上の中間処理施設を設置する場合は、市の許可が必要です。

1 処理施設の種類の設置数

平成27年3月31日現在、設置許可を有する産業廃棄物処理施設の数は52施設（最終処分場9施設、中間処理施設43施設）です（表7-2-1）。

平成26年度は、廃プラスチック類の破碎施設（固定式）が新たに1施設設置許可を取得しました。

表7-2-1 産業廃棄物処理施設設置数

施設の種類の設置数		設置数
汚泥	脱水施設（移動式）	4
	脱水施設（固定式）	6
	焼却施設	2
廃油	油水分離施設	1
廃プラスチック類	破碎施設（固定式）	3
がれき類	破碎施設（移動式）	14
	破碎施設（固定式）	5
木くず	破碎施設（移動式）	6
	破碎施設（固定式）	2
最終処分場	遮断型	1
	安定型	3
	管理型	5
合 計		52

（平成27年3月31日現在）

2 処理施設の処理実績

平成26年度の市内の産業廃棄物処理施設による産業廃棄物の処理実績は以下のとおりです。

表7-2-2 最終処分場処分実績

最 終 処 分 場				処分実績	
種類	設置事業所	埋立面積 (m ²)	埋立容量 (m ³)	処分量 (m ³)	残存容量 (m ³)
遮断型	三井金属鉱業(株) 三池事務所	945	4,620	0	1,655
	三西開発(株)	15,262	17,613	0	13,494
安定型	三西開発(株)	1,000	5,400	0	3,239
	(株)クリーンアトラス	11,289	90,000	0	0
管理型	三西開発(株)	39,112	571,000	4,920	415,129
	三西開発(株)	65,900	233,130	195	4,751
	三西開発(株)	15,600	68,279	0	1,798
	三西開発(株)	9,108	78,000	0	2,145
	電気化学工業(株)	176,000	616,000	12	44,231
合 計		334,216	1,684,042	5,127	486,442

（平成26年度実績）

表7-2-3 中間処理施設の処理実績

中間処理施設					処理実績 (t)		
処理物	施設名称	設置事業所	許可番号	処理能力	処理前	処理後	
汚泥	脱水施設 (固定式)	オーム乳業(株)	産施第7号	12.98 m ³ /日	16,304	1,087	
		三西開発(株)	産施第44号 (産譲第12号)	180 m ³ /日	26,464	6,248	
		三西開発(株)	産施第21号 (産譲第1号)	209.76 m ³ /日	10,198	3,705	
		ダイスタージャパン(株)	産施第24号	85 m ³ /日	2,666	1,159	
		三井化学(株)	産施第43号	960 m ³ /日	0	0	
		三井金属鉱業(株) 三池レアメタル工場	みなし許可	54 m ³ /日	10,640	2,987	
	焼却施設	日本コークス工業(株)	産施第8号	61 t/日	20,137	1,548	
		三西開発(株)	産施第45号 (産譲第14号)	95.1 t/日	10,361	3,589	
	廃油	油水分離施設	喜楽鉱業(株)	産施第10号	134.4 m ³ /日	9,183	1,023
		焼却施設	日本コークス工業(株)	産施第8号	61 m ³ /日	0	0
廃プラ	破碎施設 (固定式)	南萬葉	産施第31号	10.7 t/日	0	0	
		株高野環境	産施第36号	96 t/日	6,481	6,481	
		南徳重産業	産施第42号	308 t/日	0	0	
		柴田産業(株)	産施第46号	118.8 t/日	33	33	
		柴田産業(株)	産施第47号	3.6 t/日	0	0	
		柴田産業(株)	産施第49号	40 t/日	0	0	
	焼却施設	柴田産業(株)	産施第51号	119 t/日	33	33	
		三西開発(株)	産施第45号 (産譲第14号)	16.4 t/日	36	12	
	木くず	破碎施設 (固定式)	南萬葉	産施第31号	13.7 t/日	446	446
			株高野環境	産施第36号	151.2 t/日	312	312
南徳重産業			産施第42号	308 t/日	2,130	2,130	
柴田産業(株)			産施第46号	186.7 t/日	150	150	
柴田産業(株)			産施第49号	63 t/日	0	0	
柴田産業(株)			産施第51号	187 t/日	0	0	
がれき類	破碎施設 (固定式)	南萬葉	産施第32号	280 t/日	33,076	33,076	
		柴田産業(株)	産施第47号	15.3 t/日	680	680	
		柴田産業(株)	産施第49号	169.6 t/日	0	0	
		三井住建道路(株)	産施第48号	320 t/日	13,882	13,882	
		三新興産(株)	みなし許可 (産譲第13号)	640 t/日	46,137	46,137	
産業廃棄物 (汚泥、廃油、 廃プラ類を除く)	焼却施設	日本コークス工業(株)	産施第8号	61 t/日	653	48	
		三西開発(株)	産施第45号 (産譲第14号)	34.4 t/日	0	0	

※平成26年度は、移動式施設の実績なし

(平成26年度実績)

第3節 産業廃棄物処理業者

産業廃棄物の処理（収集運搬及び処分）を業として行おうとする者は、業を行おうとする区域を管轄する都道府県知事（政令で定める市にあっては市長。福岡県の場合、北九州市、福岡市、久留米市、大牟田市）の許可が必要です。しかし、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令の一部を改正する政令」の施行により、平成23年4月1日から収集運搬業の許可が合理化され、政令市内で積み替え保管を行う場合を除き、県知事の許可のみで政令市を含む県内全域の収集運搬が可能となりました。

1 産業廃棄物処理業許可業者数

収集運搬業の許可の合理化によって、市内の収集運搬業許可業者数が大幅に減少しました。平成27年3月31日現在51業者で、23年（817業者）の94%減となっています。

処分業許可業者数は、中間処理42業者、最終処分1業者で大きな増減はありません。

表7-3-1 産業廃棄物処理業許可業者数

業 区 分	許可業者数					
	H23	H24	H25	H26	H27	
収集運搬業	産業廃棄物	665	137	101	57	36
	特別管理産業廃棄物	152	48	38	22	15
	計	817	185	139	79	51
処分業（中間処理）	産業廃棄物	43	42	41	41	39
	特別管理産業廃棄物	4	4	3	4	3
	計	47	46	44	45	42
処分業（最終処分）	産業廃棄物	1	1	1	1	1
	特別管理産業廃棄物	0	0	0	0	0
	計	1	1	1	1	1

（平成27年3月31日現在）

2 処分業者の処理実績

市内の中間処理業者によって、32万1千トンの産業廃棄物（内特別管理産業廃棄物9万8千トン）が中間処理されました。中間処理の種類別に見ると、がれき類の破碎が9万4千トンで最も多く、以下、ばいじんの溶鉱炉製錬8万7千トン、汚泥の脱水3万7千トン、汚泥の焼却2万トンと続いています。

また、最終処分業者によって5千トンの産業廃棄物が最終処分（埋立処分）されました。

表7-3-2 産業廃棄物中間処理量

中間処理の種類		取扱量 (t)
処理対象物	処理方法	
汚泥	脱水	36,662
	焼却	20,137
	溶鉱炉製錬	8,362
	その他	5,637
廃油	油水分離	9,186
	その他	1
廃酸	中和	515
	その他	15
廃アルカリ	中和	381
	その他	0
廃プラスチック類	破碎	7,258
	圧縮	1,835
	水溶化分離	4,740
	その他	691
木くず	破碎	10,762
	焼却	49
	その他	79
ガラスくず等	破碎	4,613
	溶鉱炉製錬	2,747
	その他	155
鉱さい	溶鉱炉製錬	105
	選別	19
	その他	738
がれき類	破碎	93,855
	選別	29
	その他	132
ばいじん	溶鉱炉製錬	2,325
	その他	1,038
混合廃棄物	破碎	1,102
	焼却	101
	圧縮	15
	その他	6,215
その他	その他	3,586
合 計		223,085

※ 汚泥中間処理（脱水）は、脱水をする前の量

（平成26年度実績）

表7-3-3 特別管理産業廃棄物中間処理量

中間処理の種類		取扱量 (t)
処理対象物	処理方法	
汚泥	溶鉱炉製錬	6,261
廃酸	中和	2,998
廃アルカリ	中和	38
鉱さい	溶鉱炉製錬	1,240
ばいじん	溶鉱炉製錬	87,412
合 計		97,949

（平成26年度実績）

表7-3-4 産業廃棄物最終処分量

処理対象物	取扱量 (t)
汚泥	5,188
がれき類	130
ばいじん	29
廃プラスチック類	20
燃え殻	6
ガラスくず等	79
合 計	5,452

（平成26年度実績）